

2010年度文学部定期健康診断について

I. 日時 2010年4月6日 8:30～14:30

II. 健康診断を受けるにあたって (3月1日～3月31日 健康診断グッズ・受診票配布 保健センター前廊下)

健康診断は、学校保健安全法に則り実施いたします。健康診断で得られた情報は、在学期間中の疾病の予防処置・治療の指示・適切な措置のために、個人情報保護法に則り適切に取り扱います。

1. 薄緑色の用紙はレントゲン専用用紙です。 **太枠のみ記入**して下さい。

2. 定期健康診断受診票について 学籍番号、氏名、必要事項を記入して下さい。

3. 胸部X線検査について 今年から日本健康倶楽部が担当します。

ブラジャーを必ず外して受診して下さい。**Tシャツを着用**して下さい。寒くないように上着を羽織って下さい。

(各更衣場所・ロッカーを利用してください。貴重品、手荷物等は放置しないで地下ロッカーへ、)

4. 尿検査提出について

当日、保健センターに時間を守って提出して下さい。当日提出できない場合は、4月中に(土日祝日を除く)保健センターへ13:00までに提出。

健康診断予定表 (指定時間内に受けられない場合は、臨機応変に他学年での受診可)

学年	学年別健康診断受診時間	ガイダンス
1年	11:00～13:30	担任指導 9:00～10:30
		日本語教員養成課程受講者 10:40～11:40
2年	8:30～12:30	13:00～14:30
3年・編入生	8:30～10:30・12:30～14:00	10:40～12:10
4年	10:40～14:00	9:00～10:30
教職員	胸部X線検査のみ 13:30～14:30	

健康診断実施場所

尿検査提出場所	1F 保健センター廊下 (エレベーター前) 提出時間: (8:30～13:00)
胸部X線検査	1F 玄関前駐車スペース
身長・体重測定	4F 458教室
視力測定	4F 407教室
血圧測定	4F 406教室
内科健診	3F 331・330教室
体脂肪測定	3F 319教室 (1年のみ)

※ 当日受診できない場合、【4月5日】花川校舎で受けてください。その場合は必ず保健センターに連絡し、所属学科の受診票を持参して健診を受け、北16条校舎保健センターに後日提出してください。

※ 両日とも受診できない場合、日本健康倶楽部、札幌複十字総合健診センター、病院などで胸部X線・内科健診を自費で4月中に受け、結果を保健センターに提出してください。

身長・体重・視力・血圧測定は、4月中に保健センターで測定します。

※ 健康診断を受けていない場合、就職・アルバイト先への健康診断書の発行はできません。

問い合わせ先 北16条校舎保健センター 011-736-5099

2010 年度定期健康診断 胸部 X 線検査について

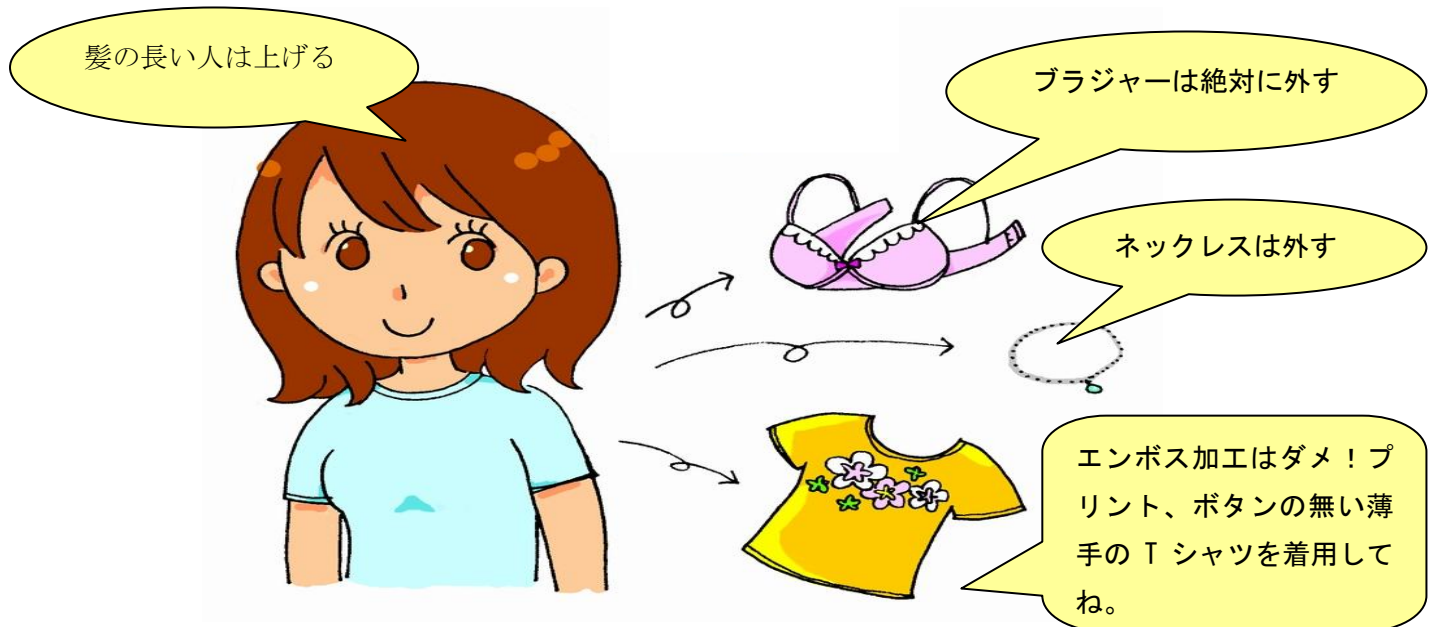
今年度から胸部 X 線検査は日本健康倶楽部が行います。変更になる項目がいくつかありますので、注意書きを読んで間違いのないように受診してください。

レントゲン実施月日	花川校舎	4月5日(月) 8:45~14:30
	北16条校舎	4月6日(火) 8:30~14:30

注意事項

1. 受診票 **学生定期健康診断票**と**胸部レントゲン受診票**の2枚に必要事項を事前に記入すること。
2. **ブラジャー、ネックレス等は、事前に外してから**レントゲン車に並んでください。
* 日本健康倶楽部では、胸部レントゲン検査時はブラジャーを外し正確を期すことになっています。
3. Tシャツ着用
X線検査では、不要なものが写らないように脱衣が基本となりますが、薄手の肌着は着用して支障ありません。写真読影の際に写ってしまうと邪魔になりますので、以下のものは撮影の際に脱いで(外して)頂くようお願いいたします。**ネックレス、ブラジャー**(ボディスーツ、スリップ)、腹巻き、ホッカイロ、磁気治療器具(エレキバン、コルセット等)、ボタン・ファスナーの付いた服、**厚手のセーターやトレーナー、派手な柄のTシャツ**等
4. あらかじめブラジャーを外してTシャツを着用、寒いので上着をはおってレントゲン車に並んでください。
5. 髪の毛の長い人は上にあげる。
6. 妊娠又は疑いがある人は、事前に保健センターまで申し出てください。
7. 当日受診できなかった学生は、大学の保健センターに連絡してください。健診センター又は、病院などで検査を受け、4月中に結果を提出してください。自己負担となります。

(間接撮影検査料の例) 日本健康倶楽部北海道支部 735円



エンボス加工：生地に施す型押し加工のこと。二つの金属のロールに凹と凸の模様を彫刻し、布をはさんで圧力をかけ、模様をつける。合成繊維の場合は熱を利用し、その熱可塑性を利用して模様を固着させる。綿や麻等の天然繊維もしくは再生繊維であるレーヨンの場合は樹脂を使用し模様を固着させる。生地に凹凸がうまれ、肌に対するテクスタイルの接触圧が減少し、涼しく感じるためシャツや夏物のパジャマ等の素材に使用される。